3月10日に開会した平成28年第1回村議会定例会において 中村村長から村政執行方針が、藤本教育長から教育行政執行方針が述べられました。 その概要をお知らせします。

が始まりました。 率1・8、介護離職者ゼロの取組 済」、「夢をつむぐ子育て支援」、 挑み、「希望を生み出す強い経 る基本的な考えを申し上げます。 億総活躍社会」を掲げ、 である少子高齢化に真正面から の開会にあたり村政執行に対す ・三本の矢」の実現を目標に「一 (国内総生産)600兆円、 「安心につながる社会保障」の「新 **53 8**7 政府は、我が国の構造的な問題 平成28年第1回占冠村定例会 28 年 G D P 出 生 建物、 きな伸びが見込めないなか、これ すが、自治体の財源である地方交 で、同社からのお願いを受けて、 式会社星野リゾート・トマムの間 進めてまいります。 からも創意と工夫により村政を 補助金等で占めており、税収の大 を地方交付税、国や道の交付金、 た。本村においては財源の多く 付税は4年連続減額となりまし 会計予算案は過去最大の規模で 村有リゾート施設は、 土地の買取目途を5年間延 本村と株

そうした国の平成28年度一

般

期する任意の協議を続けており

冠村人口ビジョン」とこの目標を自の推計を1055人とした「占

まち・ひと・しごと創生」に取りため、村の特徴を活かし「占冠村

	進める地方創生において 進める地方創生において 進める地方創生において 地 な す。	に歯止めを	国が示した894人に対し、村独は、2040年の本村人口推計は
政執行の基本姿執 (((((() () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () ()	政執行の基本姿執 水 、昨年11月同社の全株式 か、昨年11月同社の全株式 か、昨年11月同社の全株式 か、昨年11月同社の全株式 か、昨年11月同社の全株式	達成するため「総合戦略」を策	国が進める地方創生において
3億円で中国企業に売却 で、まる1月13日札幌 をしたで、去る1月13日札幌 をしたで、去る1月13日 により、今後も任意の で、去る1月13日 による効率化と財政 での調停を通じ、村 での調停を通じ、 大 でので、去る1月13日 に至りました。 の の く 住民福祉の向 で	3億円で中国企業に売却 な判所での調停を申し立て、合 地で、去る1月13日札幌 が、昨年11月同社の全株式 ので、去る3000000000000000000000000000000000000	勢	姿
3億円で中国企業に売却 な対所での調停を通じ、村 地となることを願って、 な対所での調停を通じ、村 地となることを願って、 なる」月13日札幌 がさらなる観光 地となることを願って、 た で、まる1月13日札幌 を申し立て、 合 で、 去る刻率化と財政 とし して で、 本 る に よ の で、 去 る に よ う 求 め る こ と に よ り 、 今後 も 任 こ の で 、 去 る 1 月 1 日 札 幌 た 。 の で 、 寺 志 し 立 て 、 合 に 志 の で 、 ま る こ と は 困 難 と な る に 志 の で 、 寺 志 ら 本 の の で 、 寺 志 ら 本 の に 志 ら 本 の に 志 し 立 て 、 合 に 、 ち 本 の 、 ち 本 の 、 ち 本 の 、 ち 本 の 、 ち 本 か に 妻 務 ・ 事 業 を 実 施 し つ て 、 つ や い に 走 の 、 ち 本 う 求 め る こ と を 照 の で 、 、 寺 本 う 求 め る こ と と し し た の の 、 、 や や に 売 か に 売 か に 一 た の の の で 、 ち か に 一 一 本 う 、 か に 売 一 で 、 の の で 、 の 、 の 、 た 、 の の て 、 て 、 で の 、 つ て 、 つ て 、 の う 、 や し た つ て 、 の つ て 、 つ 、 の う 、 、 う 本 の つ て 、 つ 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の ら 、 つ て 、 つ て 、 つ て 、 つ て 、 つ て 、 つ ち つ て 、 つ て で つ て つ こ し し つ て つ て の つ て つ て つ て つ て つ て の つ て て つ つ て つ て つ つ つ つ て つ つ つ つ て つ て つ つ つ つ つ つ つ つ て つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ て つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ て つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	3億円で中国企業に売却 るよう求めることとし 地となることを願って で、去る1月13日札幌 がの4事業を実施して、合 を申し立て、合 を申し立て、合 を申し立て、合 を前って がさらなる観光 でので、生る 1月13日札幌 での で、去る1月13日札幌 での で、去る1月13日 人幌 での で、 大る の で、 大る た の で、 大 る た の で、 大 る た の で、 大 る た の で 、 大 る た の で 、 大 る た の で 、 大 る た の で 、 大 る た の で 、 大 る た の で 、 大 る た の で 、 大 の の で 、 大 の の で 、 大 の の で 、 大 の の の で 、 大 の の の に の の の の の の の の の の の の の の の		
め次の4事業を実施して の次の4事業を実施して か、昨年11月同社の全株式	3億円で中国企業に売却 るよう求めることとし 地で、去る1月13日札幌 を中し立て、合 地となることを願って 一助となることを願って、 会 で、去る300、住民福祉の向 で、去る300、 1月13日札幌 を申し立て、 合 税 り、 住民福祉の向	を進めてまいります。	(
3億円で中国企業に売却 な判所での調停を申し立て、合 一助となることは困難とな したので、去る1月13日札幌 か、昨年11月同社の全株式 がないさらなる観光 車な財産がさらなる観光 車な財産がさらなる観光 した。 した。 の の 、 主民品した。 の で 、 お の で の 調停を申し立て、合 し立て、合 した。 した。 の で 、 古 の で 、 古 の 志 う 求めることと し し 立 て 、 合 し 、 日 れ 幌 た の 前 の で 、 古 の 志 う 求 め る こ と は 困 難 と な る 和 に 調 停 を 申 し 立 て 、 合 に 載 し 立 て 、 合 に 志 う 求 め る こ と は 困 難 と な の 前 の で 、 寺 務 ・ 事 発 も 氏 の 、 う 求 め る こ と は 国 れ 幌 た の の の で 、 う 求 め る こ て 、 合 の 、 う 求 め る こ と は 国 和 世 し 立 て 、 合 つ 、 う 求 め る こ と と し し つ て 、 合 に 売 の の 、 う 求 め る こ と と し し つ て 、 つ う 、 う 本 う の の 、 一 、 日 、 一 、 一 、 ち の つ 、 、 う 、 う 、 う 、 の の の 、 、 う 、 の の の の 、 の る こ と と し う て 、 つ 、 、 う 、 の の 、 、 う 、 の 、 の う 、 つ 、 、 う 、 の う 、 う 、 う 、 う の う 、 、 う 、 の う 、 う 、 う 、 の う 、 う 、 う う 、 う う 、 う う 、 う で の こ し た の の つ て 、 つ て 、 う う つ こ し で の 日 一 て 、 う う の る た ら る こ し こ の つ て 、 つ て 、 う つ て 、 う つ 、 う つ の う つ て 、 つ て つ て つ つ つ ろ つ て つ つ つ て つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	2いう報道に至りました。 2いう報道に至りました。 2いう報道に至りました。 2いう報道に至りました。 1. 一助となることは困難とな なることは困難とな ることは困難とな ることは困難とな ることは困難とな ることを願って 、合 代 ので、去る1月13日札幌 での調停を通じ、村 私判所での調停を通じ、村 私判所での調停を通じ、村 本でき速やかに建物、土地 し立て、合 による効率化と財政	全で安心して暮らせる村づく	4事業を実施し
23億円で中国企業に売却 たので、去る1月13日札幌 し立て、合 町となることは困難とな し立て、合 市に調停を申し立て、合 町となることを願って した。 での助さなる観光	12 13 億円で中国企業に売却 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	女命功県)可二に努りながっ、 め、消防団員・署員の充実を図	目の発成と図り、住民冨士り共同処理による効率化と助
一助となることを願って るよう求めることとし したので、去る1月13日札幌 を中し立て、合 での調停を申し立て、合 での調停を通じ、村 での調停を通じ、村 での調停を通じ、村 での調停を通じ、村	一助となることを願って 和前での調停を通じ、村 でので、去る1月13日札幌 でので、去る1月13日札幌 でので、去る1月13日札幌 でので、去る1月13日札幌 での調停を申し立て、合 をかに建物、土地 した。 の で、去る1月13日札幌 での調停を通じ、村	住民の生命・身体・財産を守る	り ※ 」 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二
			います。
		してまいります。	振興の一助となることを願って
			民の貴重な財産がさらなる観光
		ともに、食材の安全性の確保に	この裁判所での調停を通じ、村
		を育むため食育の一翼を担う	ました。
			を買い取るよう求めることとし
		飼料供給に努めてまいります。	意書に基づき速やかに建物、土地
		収穫を行い、酪農・肉牛経営の	地方裁判所に調停を申し立て、合
			りましたので、去る1月13日札幌
U AIL	U AIL	公共串内牧場では、管内・圏	協議を継続することは困難とな
ZI I	AII	ます。	このことにより、今後も任意の
		社会の構築に取り組んでまい	されるという報道に至りました。
昨年11月同社の全株式	昨年11月同社の全株式	る減量化と再利用を進め、循環	が183億円で中国企業に売却
		環境衛生では、廃棄物のさら	ましたが、昨年11月同社の全株式

2016年4月号 《 此方 3, 2

た。現在は24名の認可
管理し、サービスの提供を開いていた。
を占冠村社会福祉協
模多機能型居宅介護施設「とま~
安全で安心な暮らしでは、小規
努めてまいります。
業者と連携を取りながら誘客に
源と捉え、観光協会、村内観光事
観光は、村の自然や農林業を資
ます。
的に進め、農業を振興してまいり
ほか新規就農、後継者対策を積極
により経営基盤の確立に努める
農業では、新たな酪農畜産対策
援を行ってまいります。
ロ ガ
、山菜の利活用、森林体
対策、カエデ樹液の商品開発への
に薪・木炭の生産販売、エゾシカ
除間伐といった山づくりを基本
産業化を進めるため路網整備や
活気ある生活では、林業の6次
るよう努めてまいります。
らづくりの教本として活用され
が、
す。規則等を整理したうえで6
らびと条例」として提案いたしま
,`
学生のワークショップで意見を
検討委員会、村民フォーラム、中
をするため占冠村むらびと条例
づくりでは、自治基本条例の検討
村づくりに参画する仕
公約であります村民一人ひ
で

1

明日の村づくり

 市協会 市協会	強化し取り組んでまいります。キーの推進に向けて一方内体制を	空き家バンクへの登録や大都(3移住・定住)
9 少かて、価にににてした目 お基・ダ にないてもしてして、 9 対ら、価設 合のい雇 村 ろひ員 住いて後協取 策具地指定 っ結人用は、のきとで 民てま押力組 を体方標し た婚のを、維、・で 活はいし隊を	1 〕 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
対ら、価設 合のい雇 標 の さ し た 婚 の を 後 協 取 に や し で 後 協 取 に や で 後 協 取 ま で し た 婚 の を の た 婚 の を 、 で し た 婚 の を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	す。	積極的に進めてまいります。
こ こ に	をもとに検討を進めてまい	的施策を展開し、人口減少対策を
 		創生交付金を活用しながら具体
福設 合のい雇 層 だ に し た 婿 の を 、 イ 基 い く し に に し し し に し し し に し 	事業に参画しましたが、	
 にてした目 うまん人用 した婚のを、維、・で にないて後協取 民てま押力組 活はいし隊を 	働して取り組む小水力可能:	た数値目標や重要業績評価指標
に んしん 雇 信 村 づ と う 結 人 用 は 、 後 協 取 た 婚 の を 、 後 協 取 た 路 で 後 協 取 た 路 で 後 協 取 た 路 で 後 協 取 た 部 で 後 協 取 た 部 で 後 協 取 た 部 で 後 協 取 た 部 で 後 に 和 記 を で た の で き で で 、 で た の で の た の で し で で 、 の で し で で 、 の で し で で 、 の で し で で 、 の で し で で 、 の で し で で 、 で の た の で の で の た の で の で の た の で の で の で の で の で の た の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	住民・事業者・行政	4つの基本目標ごとに設定し
に れ し に に に し に に し に に し に た こ し に し に た こ し に し に た こ し に し に た こ し に し に た こ し に し に た こ し に し に を た こ し に し に た こ し に し に た こ し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し こ し し に し こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ こ こ こ し こ こ こ こ こ し こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	いりました。	地域づくりであります。
れました 1 <td< td=""><td>のEV充電器設置等を進め</td><td></td></td<>	のEV充電器設置等を進め	
しい 雇 暦 村	への薪ストーブ設置や道の	流れをつくる、③若い世代の結婚
に 雇標		創出する、②地方への新しい人の
目 村基 には に に し い し し し し し し し し し い し し し い し し い し し い し い し い し い い し い	昨年度は「とま~る」への	①地方における安定した雇用を
対 基 ひ員 にいので後 協取 付 ごと会 民 て ま 押 力 組 維 、・で 活 は い し 隊 を	(5)新エネルギーの推進	占冠村総合戦略の基本目標は、
		持をめざしてまいります。
	図ってまいります。	将来にわたって活力ある村の維
	充実させ、村のPRと地域振	しごと創生総合戦略」に基づき、
戦略検討委員会で 戦略検討委員会で	度も、 寄附者への 贈呈品の内·	策定された「占冠村まち・ひと・
よいります。 「」を中心に住民活 いります。		占冠村総合戦略検討委員会で
おいります。 「」を中心に住民活 に」を中心に住民活 にまづく取組を 後押し	平成27年度は、前年比で約	
よいります。 おいります。 おいります。 は は は は た の 取 組 を 後 押 し た い り ま す。	・村づくり寄附金)	
[」を中心に住民活めの取組を後押しに基づく取組を後押し	(4)ふるさと寄附金(しむか	動を支援してまいります。
ム地区においてはとの取組を後押しし、いたの取組を後押しりに基づく取組を後押し		「ミナ・トマム」を中心に住民活
26対策を進めてまい区の 取組を後押し 出域おこし協力隊 針に基づく取組を	でまいります。	
区の取組を後押し 地域おこし協力隊 針に基づく取組を	ム地区への定住対策に取り	
地域おこし協力隊針に基づく取組を	けた準備を進めるとともに、	を中心に各地区の取組を後押し
組 を	トマム給油所の再開	地域おこし協
	ます。	組
	流人口の拡大を促進してま	(1)集落対策

組んでまいります。に向けて、庁内体制を	(討を進めてまいりまされており、調査結果画しましたが、現在も)組む小水力可能性調民・事業者・行政が協	♪ - 一ブ設置や道の駅へ 「とま~る」への地中 「とま~る」への地中	ります。 ります。 ります。	す。

上七方-苏。3 2016年4月号

のPRを推進し、移住・定住、交市圏で行う移住・ちょっと暮らし

(
μĘ
5747
(2)
\sim
9
F-7
EE.
55
100
4
(^'))

(1) 農業

定発効後の影響は計り知れない 本村の農業において、TPP協 の影響について発表しました。 の影響について発表しました。 でし、農林水産省や北海道ではそ ではその大筋合意に ではその大筋合意に ではその大筋合意に ではその大筋合意に

てまいります。 てまいります。 てまいりますが、経営基盤の安 で発効後の影響は計り知れない

平成23年度より実施してきま ①酪農・畜産



酪農・畜産の収益力向上に向け	してまいります。	導入貸付金等による支援を継続	助、家畜自衛防疫事業補助、家	また、串内草地放牧預託事業補	を図ってまいります。	事業を創設して農家経営の安定	施し、新たに肉用牛資質改良増	畜産経営安定化事業を3年間実	その後継事業として今年度より	業が平成27年度で終了しました。	した黒毛和種繁殖経営安定化事	
向け		継続	家畜	業補		安定	増殖	間実	より	た。	化事	
· ·		1/1/4	ш	1114				~	_		-	

でまいります。 でまいります。

村補助事業でご

継続してまいります。 継続してまいります。 総称してまいの、環境保全型農 がは、し、環境保全型農 が、ための電気牧 が、ための電気牧

辛	行うことで地域雇用の安定的創
	村有林は、計画的な森林整備を
зı	①村有林の管理・経営
*	
/壬4.	産業化をめざしてまいります。
士卜	残木)台帳を活用し、林業の6次
	っては、森林現況調査や銘木(保
18	手いたします。事業実施にあた
<u> </u>	生交付金を活用し、調査事業に着
-7	むら」の再生をめざして、地方創
4	こうした状況のなか、「林業の
	題があります。
+,	体を含む担い手不足といった課
	下や、森林整備のための林業事業
-	
++	_/\`\
	されています。
	場としての文化的な機能が期待
	環境教育やレクリエーションの
10	土砂の流出など自然災害の防止、
H	全、二酸化炭素の吸収源に加え、
*	水資源の確保や生物多様性の保
44	森林は木材生産だけではなく、
~ /1	(2) 林業
1	施設整備を支援してまいります。
	にかかわる農業振興補助により、
	また、経営基盤安定のため営農
Ŧ	
	と連携し、就農に向けた協議・指
1.	支援協議会を構成する関係機関
4 45	就農相談があり、今後も新規就農
₹%	け実習を行い、新たに1世帯より
भार	村内において2名が就農に向
111	③担い手対策

善に向け、林業事業体等への補助さらに、造材作業システムの改	整備担い手対策推進事業退職金共済制度補助事業	労条件整備を図るため林業	これらを踏まえ、林業従事者急務となっています。	ペレーターの養成などの	及び運転技術が必要とされ	図るため、高生能林業幾戒の材育成や確保、労働の負担軽	現状から、次代を担う就労者また(林業就業者の高齢化か	うます。	内	村内の民有林での森林整備は	③林業事業体への支援	ります。	度を引き続き実施して	くり推進事業などの造興資本事業やオオペー	辰興告林事業れたたへつなくり」への負担軽減を図る民	進するため、森林所有者の「	営	②私有林の育成支援	まいります。	・除間伐等の森林整備を実施して	恒栽・下	路網整	発揮を図るため、国及び道の各種	業の再生と公益的機能の持続的	出に寄与するとともに、森林・林
		森林整備担い手対策推進事業を働者退職金共済制度補助事業や	整備担い手対策推進事業退職金共済制度補助事業条件整備を図るため林業	整備担い手対策推進事業 退職金共済制度補助事業 条件整備を図るため林業 れらを踏まえ、林業従事者 務となっています	整備担い手対策推進事業退職金共済制度補助事業条件整備を図るため林業れらを踏まえ、林業従事者務となっています。	整備担い手対策推進事業 と職金共済制度補助事業 条件整備を図るため林業 務となっています。 ひーターの養成などの取 び運転技術が必要とされ	整備担い手対策推進事業 整備担い手対策推進事業 れらを踏まえ、林業従事者 務となっています。 び運転技術が必要とされ るため、高性能林業機械の 育成や確保、労働の負担軽	整備担い手対策推進事業 整備担い手対策推進事業 とーターの養成などの取 で運転技術が必要とされ るため、高性能林業機械の 育成や確保、労働の負担軽 状から、次代を担う就労者 たします。 林業就業者の高齢化が	整備担い手対策推進事業 整備担い手対策推進事業 と一夕一の養成などの取 で運転技術が必要とされ るため、高性能林業機械の 育成や確保、労働の負担軽 状から、次代を担う就労者 務となっています。 そ件整備を図るため林業 後、林業就業者の高齢化が る状況にあります。	整備担い手対策推進事業 と職金共済制度補助事業 を件整備を図るため林業 た、林業就業者の高齢化が る状況にあります。 がら、次代を担う就労者 た、林業就業者の高齢化が る状況にあります。 外の事業体により施業さ	整備担い手対策推進事業 と職金共済制度補助事業 としターの養成などの取 で運転技術が必要とされ るため、高性能林業機械の 育成や確保、労働の負担軽 状から、次代を担う就労者 務となっています。 外の事業体により施業さ 内の民有林での森林整備	整備担い手対策推進事業体への支援 整備担い手対策推進事業 本での森林整備 を踏まえ、林業就業者の高齢化が るため、高性能林業機械の 育成や確保、労働の負担軽 がら、次代を担う就労者 がとなっています。 たい本業就業者の高齢化が のの民有林での森林整備 林業事業体への支援	整備担い手対策推進事業 と職金共済制度補助事業 を件整備を図るため林業 がら、次代を担う就労者 た、林業就業者の高齢化 がの事業体により施業 を件整備を図るため林業 機会整備を図るため林業 での 教の事業体への支援 を なっています。 ため、高性能林業機械の 育成や確保、労働の負担 を たいます。 本業 での 表 が を なっています。 で の を 勝 た が が が の た の た が が の た の た の た の た の た	整備担い手対策推進事 そ件整備を図るため林 業事業体への支援 た、林業事業体への支援 た、林業就業者の高齢化 る状況にあります。 がの事業体により施業 内の民有林での森林 変備を踏まえ、林業就業者の高齢化 るため、高性能林業機動の負担 状から、次代を担う就労 たるため、高性能林業機械 での森林整 の高齢化 を踏まえ、林業従事	整備担い手対策推進事業 ないの を引き に あります。 を 引き 続き 実体 や で の の 民 有林 で の ま 業体 への 支援 本 業体 に あ ります。 た 、 林 業 業体 への 支援 大 代 を 担 う 就 学 都 で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 森林 整 備 を で の 表 大 代 を 担 う 就 労 働 の し て む た 、 大 代 を 担 う 就 労 働 の 自 世 能 林 整 備 を で の た 、 本 業 体 に よ り ま っ 。 、 本 、 本 業 本 で の 、 大 代 を 担 う 就 第 業 本 で の 、 本 、 、 本 業 後 し の た 、 本 、 業 本 で の 、 、 代 を 担 う 就 第 、 の 、 、 代 を 担 う 就 第 、 、 、 代 を 担 う 就 第 一 で の た 、 本 、 、 、 、 、 、 、 の し て ま 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	整備担い手対策推進事業などの造 整備担い手対策推進事業などの造 た、林業事業体への支援 外の事業体への支援 内の民有林での森林 を がら、次代を担う就 が となっています。 本業が必要とさ を が が 必要 が 必要 が が 必 、 次代 を 指 し ま 来 本 た の た 、 本 業 体 への 支援 本 た 、 大 代 を 担 う 就 数 世 能 林 業 本 への 支援 本 本 来 本 た 、 大 代 を 担 う 就 表 本 本 た の た 、 本 来 本 で の 森 林 整 備 を で の 森 林 業 本 で の 森 林 業 本 で の 森 林 業 本 で の 本 本 来 前 た の た 、 本 来 前 た の た 、 か 、 、 代 を 担 う 就 就 者 の の 義 他 に よ り ま で の た 、 本 本 業 な の の 長 市 本 本 来 、 本 本 、 本 来 本 で の 、 本 本 来 、 の 、 本 本 、 本 本 、 本 本 、 の 、 本 本 本 、 の 、 本 本 本 、 の う 歳 他 に よ り 志 で の 、 本 本 来 、 の し う 能 世 ま 、 、 、 、 、 の し う 前 他 に 、 の し う 前 他 に 、 か 本 来 来 へ つ う の 道 一 一 本 本 、 の つ し て 、 の 、 本 本 、 の つ し て 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	整備担い手対策推進事 整備担い手対策推進事業体への支援 なこの した の 市 の 市 の 長 有 林 で の 森 林 業 本 や 確 保 、 労 御 の 長 有 林 で の 森 林 業 本 へ の 長 有 林 で の 森 林 来 業 体 へ の 支 援 本 、 本 来 礼 に あ り ま 式 に あ り ま す 。 の し て の 義 成 た が 、 本 来 業 体 へ の 支 援 本 で の 森 林 来 、 次 代 を 祖 ら 、 次 代 を 祖 を 祖 を 前 た の 、 本 来 末 た の た の た 、 本 来 末 た の た の た あ 、 本 末 末 た の た の た の た 、 本 来 末 た の た か た の た の た か た が た の た か た が た の た か た が た が た が た の た め た か た が た の た か 本 本 所 有 者 の の ち 本 か 方 本 た の た か 本 本 所 有 者 の の た か 本 本 所 有 者 の の た か 本 本 所 有 者 の の た か た か た か た 本 た か た か た か た か た か た か た か た か た か た か た か た か た た か た か た か た た か た た か た た か た た か た た か た た か た た か た た か た か た た か た た か た か た か た た か た た か た か た か た か た か た か た か た か た か た か た か た か た た か た ち っ た た か た た た か た た た た た た た た た た た た た		整備担い手対策推進事業体への支援本業が必要になっています。 を引き続き実体への支援本業体への支援本業が必要により、たび、たび、たび、たび、たび、たび、たび、たび、たび、たび、たび、たび、たび、	整備担い手対策推進事業体への支援 整備担い手対策権への支援 なた。状業就業者の高齢化 などの支援 なたいます。 なたいます。 を引き続き実施して ります。 なたの、森林所有者の の し を 引き続き実施して の な た な 大 代 を 相 し ま 業 体 へ の 負 担 軽 減 を で の 森 林 所 有 林 の で の た め 、 次 代 を 相 し ま 来 本 た の た の 、 次 代 を 相 し ま 来 本 で の 森 林 所 有 本 の の 長 末 本 本 で の た の 、 次 代 を 相 し ま 来 た の た の 、 次 代 を 相 た の た め 、 次 代 を 相 し ま 来 た の う の た の 、 次 代 を 相 た の た の た め 、 次 代 を 相 う ま 来 本 た の た の た の の 、 本 来 本 で の た の た の た の 、 次 代 を 相 う ま 来 本 や で の た め 、 次 代 を 相 う ま 来 本 で の た が 、 次 代 を 相 う 前 む に た め た が 、 次 代 を 相 う 就 を で の た あ た が 、 次 代 を 相 う 就 た め た 本 本 本 の つ 方 む に 立 、 本 本 、 の う 品 世 能 本 本 、 の つ ち で 、 の た し て た あ 本 本 本 、 の う た し て 本 本 本 、 の う 本 本 本 、 つ ち 一 で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	整備担い手対策推進事業体への支援 などの、水業が必要となっています。 やの長有林の育成支援 などの長有林の育成支援 などの長有林の育成支援 本業部業体への支援 本業にあります。 なため、森林所有者の なため、森林所有者の なため、高性能林業機本の支援 などのでします。 たいます。 本業が必要となっています。 なため、高性能林業機構を図るため、森林所有者の のして、本業での森林整備を実施して なため、高性能林業機構を図るため、森林所有者の ながら、次代を担う就齢化 なため、高性能林業機構を図るため、森林所有者の ながります。 たいます。	整備担い手対策推進事 整備担い手対策権 などの た な 大 が ら 、 次 代 を 相 大 、 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	整備担い手対策推進事業体への支援 本業が必要となっています。 の 市 の 市 た が が 必 、 次 代 を 相 力 り ま っ 。 の し た め 、 次 代 を 相 し 、 方 に あ り ま っ 。 の し た め 、 次 代 を 相 た の た め 、 次 代 を れ の り ま 、 次 代 を 相 の ち の た め 、 本 株 業 本 本 た の 、 本 大 代 を れ の う の た め 、 赤 木 業 本 本 た の 、 次 代 を れ の う の た め 、 次 代 を れ の う た め 、 次 代 を れ の う た め 、 次 代 を 相 り ま 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 、 次 代 を 相 う 就 た が 、 次 代 を 相 う 、 就 前 れ 前 に し 、 、 、 本 本 本 や て の 、 、 、 、 、 、 代 を 相 う 就 だ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	整備担い手対策推進事業体への支援 本本業院 なっています。 た、林業就業者の高齢化 なため、高性能林業就業者の高齢化 なため、高性能林業就業者の高齢化 なため、高性能林業税業者の高齢化 なため、高性能林業税業者の高齢化 なため、高性能林業税業者の高齢化 なため、高性能林業税業者の高齢化 なため、高性能林業税業者の高齢化 なため、高性能林業税業者の高齢化 なため、高性能林業税業者の高齢化 なため、高性能林業税 なため、高性能林業税 などの なため、高性能林業税 本林所有者の なの 造物の 大、林業税 本林所有者の なの 造 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	整備担い手対策推載事業体への支援 本 整備担い手式制度補助ます。 整備担い手式制度補助ます。 整備担い手式制度補助ます。 整備担い手式制度補助ます。 整備主法、林業就業者の高齢化 な 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

④木質バイオマスの推進	討を行ってまいります。いて、森林組合と連携し協議・検及び融資制度の活用や支援につ
-------------	--



(3) 商工・観光	す。 須知ったのを構築してまいりま 加システムを構築してまいりま の確保を優先に、独自の管理型狩 行猟における村民の安心・安全	の具体的検討を進めてまいりま過するため、今後の管理運営主体今年で準備期間の2年間が経現するため設定しました。	日理をめな 策を上記
	り 型 安	り 土 か	をめな 東をたえ 超
	ま 狩 全	ま 体 経	実細狩 の行っ、村

①トマムリゾー \mathbb{P}

き続き定期協議の開催等を通じ 観光入込を維持しています。引依然として管内トップクラスの バウンド(訪日外国人旅行)は、 て、リゾートとの連携強化を進め して好調な集客状況にあり、 テラスと、冬のスキー場を中心と てまいります。 トマムリゾートは、 夏季の雲海 イン

指定簿 ②道の駅

がら、施設の管理運営の充実	指定管理者との連携を図
	-
努	な



観光を推進してまいります。 ル受付窓口を設置して村内周遊 しており継続してまいります。 ョップは、基幹産業の振興に貢献 から好評を得ているアンテナシ めてまいります。 また、今年度もレンタルサイク 多くの観光客

ます。

続き村内各家庭への普及に努め

③物産館

に向け、 ます。 め、地域の振興につなげてまいり めながら、施設の管理運営に努 す。歴史ある観光施設の利活用 在空きスペースとなっておりま昨年春に1階店舗が閉店し、現 所要の手続きと準備を進

④湯の沢温泉

ことで利用者数が増加に転じま を経過し、昨年定休日を廃止した指定管理者による運営が4年

てまいります。	め、指定管理者との連携を密にし	らに顧客満足度を高めていくた	今後も優れた泉質を生かし、さ	れました。	じる温泉」としての価値が高めら	トの一つである「豊かな自然を感	たことで、湯の沢温泉のコンセプ	事業により周辺環境が整備され	また、3年間のサクラ等の植樹	す。	の一部張替を実施してまいりま	所を解消するため、今年度も屋根	施設の老朽化対策は、雨漏り箇	す。 上などの対応が要請されていまへの周知徹底や食事の満足度向した。一方で休館に伴う利用者
	0	10	<u> </u>		_				121		5	111		04 1.1 1



したガーズ。 5 2016年4月号

3
交
流
の推
進
と施
設
活田

(1)山菜料理コンクール

されます。 した。 料理コンクールは国内でも珍し り、イベント成功に向けて取り組 おりますが、村内からも参加を募 く、昨年はレシピ集も作成されま ンクール」が昨年に引き続き開催 んでまいります。 今年度は既に応募が始まって 本年6月に「第2回山菜料理コ 山菜に焦点をあてた

(2)サイクルツーリズムの推進

てまいります。 ら、サイクルツーリズムを推進し 需要調査と基盤整備を進めなが 進実行委員会を中心に、村内での 占冠村サイクルツーリズム推

また、村内体験事業と組み合わ



外からの誘客やサイクリング周 遊を促進してまいります。 せたモニターツアーを実施し、 村

(3)赤岩青巌峡

じめ、遊歩道の利用や景観観光等 ます。この間のPRや事業展開 てきました。 の利用者にもその魅力が浸透し によりロッククライミングをは て利用できるとの評価を得てい 用者から管理が行き届き安心し が整備されてきたことにより、利 6年間の事業成果として、 環境

と、交流人口増加に向け管理業務 して、今年度も自然環境の保全 を行ってまいります。 後世に残すべき貴重な財産と

(4)ニニウキャンプ場

名度の向上、新たな自主事業等が となりました。 較し、2143人増の3464人 の平成25年度(1321人)と比 功を奏し、利用者数は再オープン 入により、効果的なPRによる知 平成27年度からの指定管理導

くなっております。 なり、利用者の満足度も非常に高 検索・予約サイト「なっぷ」)と ランキングでは1位(キャンプ場 また、北海道のキャンプ場人気

ました。国の点検基準の制定に (遠方目視)による点検を実施し

団地1棟4戸の屋根・外壁改修工 戸の外壁改修工事と第2トマム ます。 に向けた事業を実施してまいり め、懸案となっている水源の確保 向上に努めながら環境整備を進 者の確保、人気度・顧客満足度の 理者との情報交換を密にし、利用 今年度におきましても、指定管

> 魅力の発信を行ってまいります。 理実習等の機会を創出し、新たな

(5) **双民館**

施設として、村内外から多くの方 るため、地場産野菜を活用した調 に利用いただいております。 から、野外体験活動を通じた研修 自然に囲まれた環境にあること 今年度は、一層の利用促進を図 双民館につきましては、豊かな

住みよい村づくり

4

(1)道路改築

2トマム団地内道路2路線の改道路改築は、平成26年度より第 ついては、平成24年度に間接目視 継続してまいります。 り、今年度も宮下橋の補修工事を により計画的な補修を行ってお 2号線道路の改良舗装工事を実 に引き続き、村道第2トマム団地 施してまいります。 良舗装工事を実施しており、昨年 現在供用を行っている橋梁に 道路橋梁は、橋梁長寿命化計画 され、 ます。 外壁改修工事を実施いたします。 橋の調査設計を実施してまいり うとともに、老朽化が著しい林友 とから、本年度より橋梁点検を行 伴い、5年に1度の点検が義務化 金を活用し、千歳団地1棟4戸の た計画により、社会資本整備交付 今年度は、平成22年度に策定し (2) 村営住宅 修繕工事では、占冠団地1棟2 方法も近接目視となったこ

	ル処理を進めており、ごみの減量
み	本村では、資源ごみのリサイク
The state	(4) 環境衛生
	を行うよう努めてまいります。
~	により、個別排水処理施設の設置
65	水洗化
	めるとともに、下水道処理区域外
动	下水道は、施設の維持管理に努
<i>t</i> ,	に努めてまいります。
	管理を行い安全で安心な水供給
	簡易水道については、施設維持
	業を進めてまいります。
	事完成後の供用開始に向けて事
	成29年度のトマム浄水場計装工
z.	電気設備・建築工事を実施し、平
ギ	ついて、今年度はポンプ場機械・
Ψŀ	ります上トマム地区水道施設に
70	また、平成25年度より進めてお
	た水不足が解消されました。
联会	り水供給を行い、懸案となってい
1	管布設工事が完成し、 昨年12月よ
Φ	占冠パーキングエリアへの配水
	簡易水道事業は、道東自動車道
拎	(3)上下水道
1	
7,	に対応してまいります。
形	後も引き続き入居者からの要望
4/4	況を確認し実施していますが、今
-1111	村営住宅の修繕については、状
	計に着手いたします。
+	めるため、個別排水処理施設の設
त	また、占冠団地等の水洗化を進
17	事を実施します。

どてまいります。 学的な地域公共交通の確保に 引き続き、より利便性の高い	、にのぼっており、年々増加して 3歳以上の高齢者のうち半数近 むらびと交通の利用者登録は、	効率化を図りました。 の率化を図りました。 (5)地域交通	とめざして、引き続き連携してまそめざして、引き続き連携してまれーの分散型利用モデルの構築	九機構との研究協力については、独立行政法人北海道立総合研験回収を行います。	り古着等 の	g村)てまれります。 し、今後のごみ処理方針について 6減量化対策推進委員会を開催	な 空容量の把握を行うとともに、 終処分場残余容量調査を実施	一方、一段廃棄勿最終処分湯のほす。
休 高 に い 努 効	加 十 数 に 近	単 行 約務 業 型の 務 乗	しのエ て 構 ネ ま 築 ル	て 合 研	等 叩 ル の 化 処 試 を 理	う で 開 催	に 夫 め () 引 、 施 、) { ご し 最 (オ フり 湯 あ、 の り適

	に即したサービスを提供し、子育
	子育て支援事業計画」は、地域性
	2年目となる「占冠村子ども・
-	います。
	整えていくことが責務と考えて
	かな成長を願い、子育ての環境を
	ります。その子どもたちの健や
	つくる私たちの大きな希望であ
	引き継がれ、子どもはその未来を
-	地域社会は、世代から世代へと
	(2) 児童福祉
	料の助成を継続してまいります。
	と運営協議を行うとともに、利用
	り、今後も占冠村社会福祉協議会
-	し、幅広い方から利用されてお
)
てまいります	小規模多機能型居宅介護施設「と
するとともに	供用開始から2年目を迎えた
質向上を図る	ます。
学童保育に	にあった事業を推進してまいり
を見守ってま	に向け、住民の個性と地域の特性
動を継続し、	「地域包括ケアシステム」の構築
業療法士を切	生活支援が一体的に提供される
ます。また、	は、医療・介護・予防・住まい・
を年3回両伯	日常生活支援総合事業」について
まえた園児	直近の課題である「介護予防と
質向上につい	必要な支援を行ってまいります。
保育環境の	ができるよう関係機関と連携し、
の負担軽減に	域で安心して暮らし続けること
育成支援対策	高齢者の皆様が、住み慣れた地
て世代への吉	(1)高齢者福祉
暮らし	5 安全で安心な暮らし

て世代への支援や幼少期からのて世代への支援や幼少期からの でまれります。 でまいります。



化や環境保全、循環型社会の形成

(3)
障
が
4
者
福
祉

支援、 送ることができるよう、必要な情 してまいります。 報提供や相談支援、 ご家族が、地域で安心した生活を 様々な障がいをもつ方やその 地域生活支援事業等を継続 就労に関する

ります。 ついても引き続き支援してまい 人工透析患者の週3回の通院に 交通費助成を継続するとともに、 及び療育のための通院に対する 発達に資するため、関係施設通所 また、障がい児の健全な育成と

者の自立を支援してまいります。 が 障がい者計画」、「占冠村第4期障 2年目を迎える「占冠村第2期 い福祉計画」に基づき、障がい



生委員・児童委員と連携し、 の推進を図ってまいります。 地域における支援体制では、民 施策

(4)保健・医療

ります。 だけるよう周知を徹底してまい 期発見・早期治療は医療費の節減 の皆様に、各種健診を受けていた 健康を維持していくため、対象者 につながります。将来にわたり 生活習慣病の予防や疾病の 早

も助成を継続してまいります。 篤化を防止できることから、今後 防ワクチンの接種で感染症の重疾病の予防対策については、予

検診として、ピロリ菌検査を導入 し、胃がん対策を強化してまいり また、今年度から胃がんリスク

ます。

料化を継続し、保護者世帯の負担 軽減を図ってまいります。 子育て支援策では、 医療費の無

ります。 保し、安心・安全な医療の提供と き続き運営の充実を図ってまい 村民の皆様の健康維持のため、引 村立診療所は、新たな医師を確

皆様のご要望に応えてまいりま ながら、支援を必要とする村民の 福祉及び介護との連携を強化し さらなる医療の充実に向けて、

す。

きるよう支援してまいります。

も地域と一体となった訓練がで 敬意を表するとともに、村として 独自で防災訓練が行われており、 可能な範囲で実施いたします。 Ŋ 間訓練を実施したいと考えてお 9月1日の防災の日を期して夜 を感じておられる方が多いため、 ますが、中でも夜間の避難に不安 様々なご意見をいただいており います。 本年度においても避難訓練を行 きな成果を挙げていることから、 対策本部の関係者にとっても大 Ŋ 反復して訓練を続けることによ 練は大変重要な対策の一つです。 対策に万全を期してまいります。 村民の皆様に情報を提供し、防災 より一層の防災意識向上のため 様々な災害を想定した備えと、対 れており、様相を変えてきている ます。要因としては、地球温暖化 ころであります。 であることを強く感じていると 応する体制及び環境整備が必要 や異常気象による影響とも言わ た災害が全国各地で起こってい 「占冠村地域防災計画」に基づき 観測史上初めて、想定外といっ (5)トマム地区においては町内会 毎年実施しております防災訓 本村の防災対策の基本となる 村民の皆様はもちろん、災害 地域との協議を進めながら、 防災対策 訓練の内容については、

> り、より充実した環境整備を進め 成しましたが、発電機の燃料貯蔵 実してまいります。 災害に対する備えをより 機材及び備蓄物の配備拡充など、 の充実を図り、 てまいります。 やトイレなど整備する課題もあ 歳地区側からの歩く避難路が完 や体制の構築、 冠中学校への避難方法として、千 今後も防災意識及び防災対策 また、避難所に指定している占 備蓄物倉庫への資 より機動的な対応 一層充



6 行財政のすすめ

ど研修を行い、職員のスキルアッ Ø 大を図り、政策能力の向上に努 具体的には本年度から本格化す 方への新たな人の流れを生み出 び込む好循環をつくることで、地 プにつなげてまいります。 設定や評価者の評価のあり方な て組み立て、自己評価による目標 ることに主眼を置いた制度とし 築を図ってまいります。 は大きく、職員には研修機会の拡 立っていく役場組織・職員の役割 のとしたいと考えております。 合戦略により実効性の上がるも る事業であり、本村においても総 う効果を狙ったものであります。 し、「まち」に活気を生み出すとい を呼び「ひと」が「しごと」を呼 地方において「しごと」が「ひと」 た「まち・ひと・しごと創生」は、 なる新人事評価制度は、人を育て 大きな期待を持ってスタートし これらの政策を実行し、先頭に 職員体制は定員適正化計画に また、本年4月から義務づけと 玉 より信頼される役場機構の構 においては成長戦略として

償却費など現金支出を伴わない 度より行われることから、平成27 資産や負債のストック情報、減価 現金主義会計では把握できない ました。今年度は、地方自治体の 年度において公有財産の基礎デ る財政書類等の公表が平成29年 図ってまいります。 状況把握をするため固定資産台 度において、本村の公共施設等の 公共施設を維持管理しています 題であり、本村においても多くの 則した財政推計3カ年計画を策 えることから、近年の財政需要に 政推計」が平成28年度で終期を迎 づくりを進めてまいります。 定し、財政負担の軽減や平準化を 「公共施設等総合管理計画」を策 長寿命化など最適な配置を行う 通し等を検討し、更新、 で公共施設等の現状や将来の見 帳の整備を行いました。今年度 が見込まれています。平成27年 が、これらの経費は増加すること 公共施設等への対応が大きな課 定します。 占冠村総合計画を基本とした「財 タを収集した台帳整備を行い あわせて、全国的に老朽化する 次に、財政運営であります 会計制度は、新公会計制度によ 統廃合、 が

願い申し上げます。 様のご理解とご協力を心よりお 議会議員の皆様並びに村民の皆 てまいります。 あります住民福祉の増進を図っ おります。 道は開けるものと確信いたして え、村づくりを進めて行けば必ず 産であり、村民の皆様と手を携 れております。これは大きな財 った豊かな自然と逞(たくま)し な施策について申し上げました。 あたりまして基本姿勢並びに主 政運営を行ってまいります。 状況を維持するため計画的な財 いても持続して負担可能な財政 い公表に向けて取り進めます。 ら複式簿記に変換する作業を行 計システムデータを発生主義か を把握するために、 行の理念の下、地方自治の原点で びとは村びとのために」の村政執 い開拓者精神が脈々と受け継が コストも含めたフルコスト情報 以上、 こうした取組により、将来にお 課題が多い年でありますが、村 「すべては村びとのために」「村 本村には、先達が残してくださ むすびに 平成28年度の村政執行に 既存の財務会

め、地域おこし協力隊員を2名採とともに、課題別の政策実現のた基づき、現行職員体制を維持する

L

地域とも連携のとれる体制